

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 6 月 23 日現在

機関番号：32406

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17H02493

研究課題名(和文)「ASEAN共同体」の拡大と深化 - 地域機構の展開とEU危機への新たな視座

研究課題名(英文) The Expansion and Deepening of 'ASEAN Community': New Perspectives on the Development of Regional Organizations and the EU Crisis

研究代表者

金子 芳樹 (Kaneko, Yoshiki)

獨協大学・外国語学部・教授

研究者番号：40233895

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、ASEANがこれまでに積み上げてきた統合と地域秩序形成の実績を再検討し、さらにASEANとその加盟国が2010年代に急速に進んだ中国の台頭や米中対立といった地政学的な変化にいかに対応してきたかを、地域機構として同様に変化への対応を迫られているEUとの比較も含めて、多面的に検証した。特に、(1)国際情勢の変化とASEANの対応、(2)地域横断的イシューの展開、(3)域内各国の政治・経済・社会変動、という「国際・地域・国内」の3次元から多層的に捉え、各次元においてASEANとその加盟国が直面している問題とそれらへの対応過程で起きている変化を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、国際関係論と東南アジア地域研究との連携の下に、国際関係の変容と国内の政治・経済・社会変動のダイナミズムを立体的に描き、急速に進む中国の台頭や米中対立がASEANとその加盟国に及ぼす影響の実態を明らかにするとともに、それらを基に日本の対ASEAN外交の将来に向けた視座を提供することにある。社会的意義としては、日本の東南アジア研究を質量ともにさらに充実させ、その成果を広く一般に公開して社会に還元すると同時に、国内外の研究者や研究機関との協力・連携の進展を図る点にある。

研究成果の概要(英文)： This research project examined ASEAN's achievements in integration and regional order formation, and found how ASEAN and its member countries have responded to geopolitical changes such as the rapid rise of China and the confrontation between the United States and China in the 2010s from multiple perspectives, including a comparison with the EU, which has been in a similar position as a regional organization. The research team took a multilayered view of the three dimensions of international, regional, and domestic issues: (1) changes in the international affairs and ASEAN's responses, (2) development of cross-regional issues, and (3) political, economic and social changes in the countries of the region. In each dimension, it clarified the problems that ASEAN and its member countries have faced in each dimension and the changes that have occurred in the process of responding to them.

研究分野：東南アジア地域研究

キーワード：ASEAN 東南アジア ASEAN共同体 地域統合 地域秩序 中国の台頭 米中対立 EU

「ASEAN 共同体」の拡大と深化 - 地域機構の展開と EU 危機への新たな視座

1. 研究開始当初の背景

本研究に携わる研究者は、これまでも ASEAN 分析の共同研究を重ねてきた。科研費補助金による研究プロジェクト「東アジアの地域秩序と ASEAN の課題」(2005~06 年度)、「地域国際環境の変容と ASEAN 型地域主義」(2007~09 年度)では、それらの成果を『アジア地域秩序と ASEAN の挑戦—東アジア共同体をめざして』(2005 年)、『ASEAN 再活性化への課題—東アジア共同体・民主化・平和構築』(2011 年)、『「米中対峙」時代の ASEAN—共同体への深化と対外関与の拡大』(2014 年、いずれも黒柳米司編著、明石書店)として刊行し、また各種学会や公開シンポジウムなどで公表してきた。これらを通して、ASEAN が東南アジア地域の統合と自律的発展を促進して「共同体」の構築を目指すとともに、域外大国に対して協力、対抗、バランスングなどの対応を重ねながら地域秩序形成の役割を果たしてきたことを明らかにした。

しかし、2010 年代半ば以降、アジア太平洋地域では「中国の台頭」や「米中対峙」といった地政学的な展開が急速に進み、ASEAN とその加盟国は新たな対応を迫られるようになった。また、地域機構の先駆である EU も、英国の離脱、加盟国間の経済格差、難民・移民の大量移入などの問題に直面し、かつてない統合の危機に見舞われるようになった。このように国際情勢が大きく変化する中で、ASEAN がアジアの地域機構としてこれまでの機能を維持し、現下の難局を乗り越えられるのか、もしくは EU が危機に直面しているように、ASEAN やその加盟国が大国間の覇権争いに巻き込まれ、統合や自律的発展が危機に瀕するのか、といった点が問われるようになった。このような状況を背景に、上述したこれまでの ASEAN 研究の成果を基にしながら、さらに研究の幅を広げ、他地域との比較研究などを取り入れるとともに、研究者が世代間・国家間の枠を超えていっそう複合的、重層的に検証を進める必要があるとの認識に至った。

2. 研究の目的

本研究の目的は、「共同体」構築に向けた ASEAN の「拡大と深化」のプロセスを再検討するとともに、国際情勢の地政学的な変動の中で ASEAN がどのように変化と対応をみせているかを検証することである。ASEAN は設立当初から多様な加盟国が「ASEAN Way」を掲げて緩やかな統合を指向し、長年の積み重ねを経て 2015 年には「ASEAN 共同体」を宣言するまでに至った。しかし、2010 年代を通して中国が国力を急速に高めて東南アジア地域への経済的影響力や政治的圧力を強め、さらに米中両大国の覇権争いが ASEAN 諸国間に亀裂や対立を生み出すようになってきた。

本研究では、ASEAN が積み上げてきた統合の実績を踏まえつつ、ASEAN やその加盟国が国際環境の変化にいかに対応してきたのかを、同じく統合の危機に瀕する EU の去就をも視野に入れながら多面的に検証する。その際に 3 つの次元、つまり、(1)国際情勢の変化と ASEAN

の対応、(2)地域横断的イシューの展開、(3)域内各国の政治・経済・社会変動、という「国際 地域 国内」の3次元から捉える。3次元の相関に着目しながら東南アジア地域の実態と変化の過程をできるだけ立体的に把握すると同時に、日本の対ASEAN外交の将来に向けた視座を提供することも目的とした。また、研究者ネットワークの拡大、社会に向けた研究成果の公開、若手研究者の育成といった副次的効果も考慮しながら進めた。

3．研究の方法

本研究プロジェクトでは、「国際 地域 国内」の3つの次元を基本として3つの研究グループを構成し、グループごとのリサーチ・分析および各グループ間の連携による複合的な実証分析を行った。具体的なりサーチ・分析の方法としては、(1)東南アジア諸国、中国、アメリカなど現地における聞き取り調査、(2)一次資料、二次資料の収集および分析、(3)定期的な研究会、国内外の学会などでの研究報告、討論、フィードバック、(4)本研究プロジェクト独自のHPの開設、一般市民向け公開シンポジウムの開催などによる社会に向けた研究成果の公表、などを中心に行った。

4．研究成果

研究目的に挙げた3つの次元について、それぞれ以下のような研究成果を得ることができた。(1)国際情勢の変化とASEANの対応については、まず中国の高度経済発展によりASEAN諸国の貿易・投資をはじめとする対中経済依存度が急速に上昇し、2000年代後半までの日米中心の対外経済関係が10年ほどで中国中心へと一変したことの影響の大きさが確認できた。元来、貿易や外資に依存するASEAN諸国の経済構造において経済面での「中国傾斜」の意味は大きく、それが外交・安全保障面にも波及していった。その典型が南シナ海問題に対するASEANの対応といえる。ASEANは中小国による国家連合として南シナ海問題をはじめ大国との問題の解決に長年結束して対応してきたが、この点でも中国に傾倒または同調する国や政権が増え、地域機構としての結束が揺らぐ側面が増えた。一方、経済・安全保障両面でこの地域に「傘」を提供してきたアメリカは、2017年にトランプ政権に代わるとASEANおよびASEAN諸国を軽視する態度が目立った。また、中国の「一帯一路」に対抗する経済戦略を打ち出せず、軍事力を背景とした中国の強引な領有権主張にも有効な対策を講じられなかった。このような状況下でASEAN諸国は米中両国との間のバランスの取り方に腐心するようになり、両国との距離の置き方や依存度をめぐる国ごとの違いがASEAN内に不協和音を生み出し、分断・分裂をもたらすリスクを高めていることが裏付けられた。

(2)東南アジア地域における地域横断的イシュー、例えば、経済やインフラ面でのコネクティビティ、非伝統的安全保障問題、域内諸国間の経済格差、移民労働者の移動、環境問題などへの取り組みについても重要度が高まっている。この点は、同じく地域機構としてEUが抱える問題とも共通する面が多い。本研究プロジェクトでは、初年度にEUを研究対象とする研究者を複数招聘して共同研究会やシンポジウムを開催し、これらの問題分野を中心にASEANとEUの比較

研究の形で議論を深めた。ASEAN、EU とともに、原加盟国と後発加盟国との間の経済格差の問題、理念重視の原加盟国と現実的利害重視の後発加盟国との軋轢など共通点が多く、一方、EU の制度的統合と ASEAN の緩やかな統合との間で問題の処理方法やそれらの帰結において相違が大きいことが明確になった。また、イデオロギーや価値観の面で内部の共通性が高い EU に対して、ASEAN は加盟国間での違いや隔たりが大きく、後者においては政治的な問題に対する共同行動が取りにくいことが認識できた。

(3) 域内各国の政治・経済・社会変動とそれに与える国際環境の影響については、本研究ではカンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、東ティモールを国別に取り上げ、対中関係、とりわけ中国が進める「一帯一路」構想との関係について分析を行った。2013 年に中国の国家主席に就任した習近平の下で打ち出され、広域経済圏構想として具現化の途上にある「一帯一路」において、東南アジア地域は中国に隣接する重要地域として位置付けられており、各国で同構想に沿ったインフラ・プロジェクトが次々と立ち上げられてきた。中国と参加国との間のウィン・ウィンを掲げるプロジェクトとして ASEAN 諸国も積極的な参加姿勢をみせているが、個々に分析すると問題点も浮き彫りになった。「一帯一路」に基づく中国の投資や援助は同国の戦略や国益が反映しやすく、長期的には中国優位の非対称型となり ASEAN 諸国にとって対中従属的な状況を呼び込みやすいことが明らかになった。また、中国の内政不干渉原則の結果、人権や政治体制の面で欧米日の先進国の援助・投資基準から外れる国や、すでに先進国や国際機関から経済制裁を受けている国などにも中国からの投資や援助が流入するため、それらが非民主的な政権や指導者の後ろ盾になる、または非民主化を助長する点も問題として把握できた。

なお、本研究では、成果物として研究分担者・協力者が執筆した学術書『「一帯一路」時代の ASEAN』(明石書店 2020 年 1 月)を刊行した。各執筆者のテーマは以下のとおり。

浅野亮「米中対峙と中国・ASEAN 関係 多国間枠組みによるバランスング」

福田保「米中対峙下におけるアジア太平洋の多国間制度」

平川幸子「『一帯一路』時代の日本外交 リベラルな ASEAN の守り」

黒柳米司「シャープパワー概念と ASEAN」

山田満「アジアにおける非伝統的安全保障協力 ASEAN 主導の『平和』の制度化」

吉野文雄「『一帯一路』と東南アジア経済」

稲田十一「ドナーとしての中国の台頭とそのインパクト カンボジアとラオスの事例」

小笠原高雪「米中対立のなかのベトナム 安全と発展の最適解の模索」

工藤年博「ポスト軍事政権期の中緬関係 『一帯一路』はミャンマーに経済成長をもたらすか」

金子芳樹「マレーシアの中国傾斜と政権交代 『一帯一路』をめぐるジレンマとその克服」

井上浩子「自立した外交を目指して 東ティモールの対中国外交とその意味」

また、アジア政経学会の 2017 年と 2019 年の春季大会において、それぞれ本研究会メンバーによる分科会を開催した。2018 年には、インドネシアのジャカルタで開催された東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) の国際会議に本研究プロジェクトのメンバーが参加し、2 つの分科会を主催した (2018 年 12 月 5~7 日、インドネシア大学)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 浅野亮	4. 巻 Vol.78、No.12
2. 論文標題 「一帯一路」の論理と性格－経済と安全保障の両面から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 運輸と経済	6. 最初と最後の頁 30-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 晋	4. 巻 第10号
2. 論文標題 A Study on Duterteconomics: Drastic Policy Shift in PPP Infrastructure Development in the Philippines	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋大学PPP研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上浩子	4. 巻 2019年版
2. 論文標題 2018年のティモール・レステ：解散・総選挙と続く政治的混乱・経済的打撃	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア動向年報2019	6. 最初と最後の頁 419-434
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上浩子	4. 巻 2018年版
2. 論文標題 2017年のティモール・レステ－FRETILIN=民主党政権の発足と野党連合との攻防	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア動向年報2018	6. 最初と最後の頁 418-425
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上浩子	4. 巻 679号
2. 論文標題 東ティモールにおける移行期正義の20年	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 27-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田十一	4. 巻 No.674・675合併号
2. 論文標題 中国「一帯一路」事業のスリランカへのインパクトとその評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 専修大学社会科学研究所・月報	6. 最初と最後の頁 35-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田保	4. 巻 Vol. 50
2. 論文標題 ASEAN・中国「蜜月」の理由 南シナ海領有権をめぐる仲裁判決から2年	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 92-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 第67巻、第1・2号
2. 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 海外事情(拓殖大学海外事情研究所)	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 通巻89号
2. 論文標題 東南アジア経済の成長率循環	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会国際情勢研究所)	6. 最初と最後の頁 147-158
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 2018年版
2. 論文標題 米中对峙下の東南アジア	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 年鑑海外事情2018	6. 最初と最後の頁 51-57
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部和美	4. 巻 2019年3月号
2. 論文標題 民主化時代インドネシアの開発ーパプア地域開発における「人間中心の開発アプローチ」の欠落	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ソシオサイエンス	6. 最初と最後の頁 19-30
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部和美	4. 巻 第5号
2. 論文標題 インドネシア・パプア問題におけるメラネシア地域の役割 メラネシア・スピアヘッド・グループのメンバーシップ問題をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 グローバル・ガバナンス	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部和美	4. 巻 第5号
2. 論文標題 インドネシア・パプア問題におけるメラネシア地域の役割 メラネシア・スピアヘッド・グループのメンバースhip問題をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 グローバル・ガバナンス	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅野亮	4. 巻 69巻4号
2. 論文標題 東アジア地域秩序の変容：現状とそのメカニズム	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 同志社法学	6. 最初と最後の頁 65-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小笠原高雪	4. 巻 45巻2号
2. 論文標題 主権国家体制と国際安全保障	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際安全保障	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子芳樹	4. 巻 No. 603
2. 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 10-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平川幸子	4. 巻 46巻3号
2. 論文標題 アジア太平洋のリベラルな地域秩序 - ASEANと台湾に光を	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 問題と研究 (台湾国立政治大学国際関係研究センター)	6. 最初と最後の頁 33-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平川幸子	4. 巻 30号
2. 論文標題 中国のエネルギー政策と地域主義外交 - 「一帯一路」のモデルとしての中央アジア	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 89 - 101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平川幸子	4. 巻 39
2. 論文標題 Reviewing the Twenty Years of Japan's 'Human Security': From Elusive Theory to Sharp Practice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 93-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平川幸子	4. 巻 May/June 2019
2. 論文標題 Asia's Role in Global Governance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japan Spotlight	6. 最初と最後の頁 51-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 満	4. 巻 869号
2. 論文標題 難民問題の歴史・現状と展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 満	4. 巻 31号
2. 論文標題 東ティモールの新たな政治課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 139-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部和美 (研究協力者)	4. 巻 29号
2. 論文標題 11.4集会に見るインドネシアのマイノリティ問題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 社会学論集	6. 最初と最後の頁 14-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水文枝	4. 巻 88号
2. 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際情勢紀要	6. 最初と最後の頁 159 - 168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水文枝	4. 巻 第90号
2. 論文標題 米軍基地をめぐる戦略的関係の構築 在比米軍基地協定改定交渉1977-1978	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際情勢紀要	6. 最初と最後の頁 197 ~ 206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水文枝	4. 巻 2019年11月
2. 論文標題 Autonomy and military bases: USAF Thule Base in Greenland as the study case	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arctic Yearbook 2019	6. 最初と最後の頁 表記なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴藤 麻里菜 (研究協力者)	4. 巻 65巻10号
2. 論文標題 ASEANと中国の50年	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 89-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 65巻7.8号
2. 論文標題 トランプ政権と東南アジア	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 65巻10号
2. 論文標題 中国企業の東南アジア進出	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 74-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 66巻1号
2. 論文標題 ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 88巻
2. 論文標題 ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所)	6. 最初と最後の頁 59-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉野文雄	4. 巻 88巻
2. 論文標題 ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所)	6. 最初と最後の頁 59-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計35件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 17件）

1. 発表者名 浅野亮
2. 発表標題 「一帯一路」が目指すユーラシアの秩序－「中華秩序」への路程？
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浅野亮
2. 発表標題 INF条約の失効と中国：国際安全保障へのインプリケーション
3. 学会等名 国際安全保障学会（部会1「INF条約の失効が国際安全保障に与えるインパクト」）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上浩子
2. 発表標題 誰がネーションを代表するのか：現代東ティモールにおける国家構築の政治化 (Who Represents the Nation?: Understanding politicization of State-building in Contemporary Timor-Leste)
3. 学会等名 東南アジア学会（第99回 研究大会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲田十一
2. 発表標題 The Impact of Chinese Aid and the “Beijing Consensus”: A Case of Cambodia and its Implications to ASEAN
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小笠原高雪
2. 発表標題 インド太平洋地域における海洋秩序構築の問題と展望（討論者として報告）
3. 学会等名 アジア政経学会 春季大会（国際関係と安全保障」分科会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小笠原高雪
2. 発表標題 Japan, Southeast Asia and Vietnam
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会（Japanese Studies Association in Southeast Asia）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小笠原高雪
2. 発表標題 ベトナムの安全保障と対米対中外交
3. 学会等名 アジア政経学会 春季大会（「一帯一路と東南アジア」分科会、慶應義塾大学：2019年6月8日）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 中国イニシアチブの発展過程
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会（共通論題「ユーラシアの制度構築をめぐる考察」）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 Japan-ASEAN Cooperation in the Free and Open Indo-Pacific Strateg
3. 学会等名 暨南大学国際関係学院講演会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 Expectation for the China-Japan-Korea Cooperation
3. 学会等名 8th East Asian Community Forum (清華大学国際関係学院Institute of Global Development) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 Maintaining Liberal Regional Order: Japan's approaches to ASEAN and Taiwan in the Indo-Pacific Strategy
3. 学会等名 14th Anniversary Memorial International Conference (台湾・淡江大學國際事務與戰略研究所) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 Emerging Norms Competition in Asian Multilateralism: Rethinking Roles of ASEAN
3. 学会等名 東南アジア日本研究会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 Japan's Perspective on FOIP(S): Formation toward "International Public Goods"
3. 学会等名 KAIS Annual Conference, The Korean Association of International Studies (ソウル、国立外交院: 2019年12月13日) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田保
2. 発表標題 The Effects of Competitive Major-Power Initiatives on Regional Multilateralism: Implications for ASEAN Centrality
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田保
2. 発表標題 米中対峙下におけるアジア太平洋多国間制度
3. 学会等名 アジア政経学会 春季大会 (慶応義塾大学: 2019年6月8日)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田満
2. 発表標題 The Prospects of Non-traditional Security Cooperation in Southeast Asia
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉野文雄
2. 発表標題 China's Economic Influence on Southeast Asia: A Comparison with Japan's
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒柳米司
2. 発表標題 Three Paradoxes of the "ASEAN Way" as a Regional Norm: A Japanese View
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部和美
2. 発表標題 Japan-Indonesia Relations in Post-Reformasi : From perspective of Japan's ODA
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部和美
2. 発表標題 ポスト権威主義体制下インドネシアにおけるパプア分離独立運動の行方 二極化する運動
3. 学会等名 国際政治学会 研究大会 (2019年10月20日)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部和美
2. 発表標題 The Obstacle to Peace in Papua: How to secure freedom from fear for the Papuan people
3. 学会等名 アジア未来会議（第5回：2020年1月11日）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清水文枝
2. 発表標題 Rethinking US Strategy in Southeast Asia: The Role of US-Japan Alliance and US-Philippine Alliance
3. 学会等名 東南アジア日本研究学会（Japanese Studies Association in Southeast Asia）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 浅野 亮
2. 発表標題 米中对峙下におけるアジア太平洋秩序の変容と中国
3. 学会等名 アジア政経学会（於 一橋大学：2017年6月25日）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金子芳樹
2. 発表標題 不確実性下で揺れる東南アジア 国内政治と地域統合の新たな分岐点
3. 学会等名 アジア政経学会（一橋大学：2017年6月24日）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金子芳樹
2. 発表標題 ASEAN創立50年 - その成果と対中対峙時代の「中国傾斜」
3. 学会等名 霞山会講演会（霞山会館：2017年7月27日）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 アジア太平洋のリベラルな地域秩序 - ASEANと台湾に光を
3. 学会等名 アジア政経学会（一橋大学：2017年6月24日）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 中国のエネルギー戦略と地域主義外交 - 「一帯一路」のモデルとしての中央アジア
3. 学会等名 国際政治学会（神戸国際会議場：2017年10月29日）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部和美
2. 発表標題 新しい大統領によるパプア問題への取り組み
3. 学会等名 アジア政経学会（一橋大学：2017年6月24日）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴藤 麻里菜
2. 発表標題 ASEANの保健衛生向上改革
3. 学会等名 アジア政経学会 (一橋大学: 2017年6月24日)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉野文雄
2. 発表標題 中国企業の東南アジア進出 - 日本企業との比較
3. 学会等名 アジア経営学会 全国大会 (東北大学: 2017年9月9日)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊藤 晋
2. 発表標題 インドネシアにおけるPPP (官民連携) インフラ整備の課題
3. 学会等名 アジア政経学会 (南山大学: 2019年11月30日)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤 晋
2. 発表標題 The Changing Dynamics of Development Cooperation in Times of Uncertainty
3. 学会等名 International Conference: Japan in a State of Uncertainty (De La Salle University (フィリピン): 2019年11月16日) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤 晋
2. 発表標題 Dutertenomics: Challenges for Financing Aspect of Infrastructure Development in the Philippines
3. 学会等名 10th Conference of European Association for Southeast Asian Studies (Humboldt University (ドイツ) : 2019年9月11日) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤 晋
2. 発表標題 Private Sector Investment in Infrastructure in the Philippines: Business Opportunities and Issues for Public-Private Partnerships
3. 学会等名 15th Conference of International Federation of East Asian Management Associations (京都大学 : 2019年6月19日) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤 晋
2. 発表標題 フィリピンにおけるインフラ・ビジネス : PPP政策の変容と今後の課題
3. 学会等名 アジア経営学会 (第26回東部部会 : 明治大学 : 2019年4月13日)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計21件

1. 著者名 金子芳樹、山田満、吉野文雄 (編著)、浅野亮、福田保、平川幸子、黒柳米司、稲田十一、小笠原高雪、工藤年博、井上浩子 (執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 281
3. 書名 「一帯一路」時代のASEAN - 中国傾斜のなかで分裂・分断にむかうのか	

1. 著者名 稲田十一、木村宏恒、小山田英治、金丸裕志、杉浦功一（編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 296
3. 書名 開発政治学を学ぶための61冊	

1. 著者名 金子芳樹、山田満（分担執筆：清水一史、田村慶子、横山豪志編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 330
3. 書名 東南アジア現代政治入門[改訂版]（金子芳樹「ブルネー現代における絶対君主制国家の安定と改革」、山田満「東ティモール 21世紀最初の独立国家」）	

1. 著者名 金子芳樹（編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 376
3. 書名 現代の国際政治 [第4版]（金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」）	

1. 著者名 工藤年博（分担執筆：Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 185
3. 書名 Developmental State Building: The Politics of Emerging Economies（工藤年博、熊谷聡「Development and Regional Balance: Developmental State-Building in Myanmar」）	

1. 著者名 平川幸子（分担執筆：中国研究所編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 510
3. 書名 中国年鑑2018（分担執筆：平川幸子「動向台湾」）	

1. 著者名 山田満	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 368
3. 書名 新しい国際協力論 [改訂版]	

1. 著者名 山田満（編著）、阿部和美（分担執筆）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Union Press	5. 総ページ数 234
3. 書名 Complex Emergencies and Humanitarian Response	

1. 著者名 山田満（共編著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 282
3. 書名 アジアダイナミズムとベトナム	

1. 著者名 山田満、阿部和美（共著：多賀秀敏編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 成文堂	5. 総ページ数 386
3. 書名 平和学から世界を見る	

1. 著者名 キシヨール・マブバニ、ジェフェリー・スン（著）、黒柳米司（訳）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新日本出版社	5. 総ページ数 296
3. 書名 ASEANの奇跡－平和の生態系	

1. 著者名 清水文枝（編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 -
3. 書名 The Political Dynamics and Impacts Surrounding Subic Naval Bases in the Philippines	

1. 著者名 稲田十一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 228
3. 書名 社会調査からみる途上国開発 - アジア6カ国の社会変容の実像	

1. 著者名 小笠原高雪（分担執筆：山梨学院大学政治行政研究会編）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 公人の友社	5. 総ページ数 309
3. 書名 政治行政入門 新版（小笠原降雪「国際政治の舞台」「日本の安全保障政策」）	

1. 著者名 金子芳樹、山田満（分担執筆：清水一史・田村慶子・横山豪志編）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 330
3. 書名 東南アジア現代政治入門（改訂版）（金子芳樹「ブルネイ 現在における絶対君主制国家の安定と改革」、山田満「東ティモール 21世紀最初の独立国家」）	

1. 著者名 福田保（編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 293
3. 書名 アジアの国際関係－移行期の地域秩序	

1. 著者名 福田保（分担執筆：西原正監修・平和安全保障問題研究所編）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝雲新聞社	5. 総ページ数 300
3. 書名 年報 アジアの安全保障2017-2018（福田保「東南アジア」）	

1. 著者名 福田保 (分担執筆: 鈴木隆・西野真由編)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 芦書房	5. 総ページ数 220
3. 書名 現代アジア学入門 (福田保「南シナ海問題と米国の外交政策」)	

1. 著者名 井上浩子 (分担執筆: アジア経済研究所編)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 620
3. 書名 アジア動向年報2017 (井上浩子「2017年のティモール・レステ: FRETILIN = 民主党政権の発足と野党連合との攻防」)	

1. 著者名 黒柳米司 (分担執筆: Gilbert Rozman and Josephn Chinyong Liow, ed)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Asan-Palrave Mcmillan Series	5. 総ページ数 372
3. 書名 International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi, "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or Reality?")	

1. 著者名 平川幸子 (分担執筆: 稲垣文昭ほか編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 170
3. 書名 資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ (平川幸子「中国モデルの『エネルギー民主主義』 - 中央アジアからの発信」)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	浅野 亮 (Asano Ryo) (10212490)	同志社大学・法学部・教授 (34310)	
研究分担者	井上 浩子 (Inoue Hiroko) (20758479)	大東文化大学・法学部・准教授 (32636)	
研究分担者	工藤 年博 (Kudo Toshihiro) (30450498)	政策研究大学院大学・政策研究科・教授 (12703)	
研究分担者	稲田 十一 (Inada juichi) (50223219)	専修大学・経済学部・教授 (32634)	
研究分担者	小笠原 高雪 (Ogasawara Takayuki) (50247467)	山梨学院大学・法学部・教授 (33402)	
研究分担者	山田 満 (Yamada Mitsuru) (50279303)	早稲田大学・社会科学総合学院・教授 (32689)	
研究分担者	平川 幸子 (Hirakawa Sachiko) (80570176)	早稲田大学・留学センター・准教授(任期付) (32689)	
研究分担者	吉野 文雄 (Yoshino Fumio) (90220706)	拓殖大学・国際学部・教授 (32638)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	福田 保 (Fukuda Tamotsu) (90511105)	東洋英和女学院大学・国際社会学部・准教授 (32718)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	黒柳 米司 (Kuroyanagi Yoneji)		
研究協力者	伊藤 晋 (Ito Susumu)		
研究協力者	清水 文枝 (Shimizu Ayae)		
研究協力者	阿部 和美 (Abe Azumi)		
研究協力者	鈴藤 麻里菜 (Suzutou Marina)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 The 6th JSA-ASEAN Conference 2018 "Global Dynamics Impacts to JAPAN-ASEAN Relations" in Jakarta, a biennial conference organized by the Japanese Studies Association in Southeast Asia(JSA-ASEAN)	開催年 2018年～2018年
---	--------------------

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------